

業種 製造業

## インフラテック株式会社

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25

設立 1956年6月15日

資本金 7300万円

従業員数 659名



**事業内容** インフラテックは、日本全域の道路、交通、住宅、景観、河川、水路、防除、復旧、メンテナンスなど広い分野のインフラパーツ（土木・建築用プレキャストコンクリート製品、GRC製品）の開発・製造・販売、建築・土木工事を行なっています。創業以来、社会課題の解決や多様化するお客様のニーズに応え続けてきました。防災・減災・国土強靱化対策など災害に強いまちづくりや、脱炭素をはじめとした環境を改善するために「インフラパーツの創造を通して、人類社会に夢と感動を提供し続けます」という経営理念に基づき、サステナブルな社会の実現に貢献しています。

## 鹿児島から、世界へ。と話してくれつつも お互いを思いやれるやさしい雰囲気職場が印象的でした。

### やりがいを感じるの？

工場管理と営業を経験し、現在は採用の仕事をしている今林さんに、それぞれの仕事のやりがいを聞きました。

営業では、お客様からの感謝を実感したときにやりがいを感じるという。仕事で関わる人々や出来上がった現場を見た地域の人々からお礼を言われたとき、特にやりがいを感じるそうです。採用では、企業説明会などで、学生さんから「どの企業よりも説明が分かりやすかったです」、後輩社員から「今林さんの説明を聞いて入社を決めました」といった言葉をかけられるととても嬉しく思うとのこと。同じく採用を担当している松本さん



は、学生と関わる機会が多いことにやりがいを感じているという。活気ある学生たちから力をもらえ

るだけでなく、彼ら彼女たちに説明することを通して、採用担当としても成長できている実感ができるそうで、学生との関わりを自分自身の成長にもつなげていきたい、とも語ってくれました。

### どうして鹿児島で？

今回インタビューしたお二人は、ともに鹿児島出身。なぜ鹿児島の企業を選んだのかを尋ねてみました。

今林さんは、生まれ育った鹿児島に貢献したかった、とのこと。九州圏内で見ると、鹿児島は三番手というイメージが世間に浸透しているように思っていました。ならば、地元鹿児島で働き、貢献することで、鹿児島をさらに盛り上げたい。他県に負けない、鹿児島県を築きたい、という熱い思いを今林さんは語ってくれました。

一方、松本さんは地元を抱いている懐かしさからだという。もともとは県外での就職も考えてい



●コンクリート製品メーカーから始まり、様々なインフラ事業を広く展開しています



●ビル屋上は桜島を一望できる絶景！（右から、今林さん・松本さん・きょうべいゆいびー）



●全国27カ所の営業所・出張所、16カ所に工場を持ち、人々の生活を支えている。



たという松本さん。しかし、大学時代に感じた鹿  
児島の人々の温かさや桜島の景色を見た際の安心  
感などから、次第に鹿児島での就職を意識したそ  
うです。

## 海外進出への思い

インフラテックのホームページにて、「海外展  
開も視野に入れていく」ということが書かれてい  
ました。そこで、採用担当のお二人に今後の海外  
進出について尋ねてみました。

数年前の時点で、すでにインフラテックは韓国  
に工場を所有しており、海外事業部という部署も  
立ち上げていました。しかし、今後の海外展開を  
模索していたときにコロナが発生。その影響もあ  
り、一時的に海外事業は停滞してしまったものの、  
毎年海外国籍の学生を採用するなど、海外に挑戦  
していきたい、という気運は今なお高いそうです。  
併せて、学生目線からの質問として、英語が話せ  
ることをどれだけ重要視しているかについても尋  
ねてみました。やはり海外に進出する以上、英語  
を話せることはもちろん重要だそうですが、イン  
フラテックの本社は鹿児島にあり、鹿児島を盛り  
上げたいという気持ちも同様に強く、且つ海外進  
出は日本での基盤が安定していてこそ実現できる  
ものなので、国内外の事業をバランスよく進めて  
いく必要があるとも話してくれました。

## 人が魅力で強み

松本さんに職場の雰囲気について尋ねたところ、  
みんな優しく温かい雰囲気の職場だと話してくれ  
ました。インフラテックに入社する前は別の会社  
に勤めており、人間関係が一番不安だったそうで  
す。しかし、入社後、職場の人たちはすれ違くと  
声をかけてくれたり、仕事の協力をお願いすると  
快く対応してくれたりしたそうで、入社前の不安  
はすぐになくなったそうです。

また今林さんは、アットホームな雰囲気の職場  
とのこと。上司部下関係なく気さくな人が多く、  
プライベートも話せる関係性だという。入社から  
9年が経つそうですが、ずっと変わらず人柄の好  
い人が集まっている職場だとか。

取材中にも気さくに話しかけてくださった方や

社員同士の会話から、本当に和やかで温かい人た  
ちの集まりだと感じました。

## 支え合って成長していく

印象に残っている仕事は、今林さんは鹿児島の  
文化遺産の現場を担当した時だそうです。普段は  
課長職や所長職でないと担当できない仕事であり、  
かなり不安だったそう。そんな時に、横で所長が  
声掛けをし、サポートしてくださったそうです。  
この仕事は、自分が苦しいときに手を差し伸べて  
くれた所長のようにになりたいと思ったことで、理  
想の上司像の形成にもつながったそうですよ。  
松本さんは、内定者向けのマナー研修での出来事  
を話してくれました。マナー研修を終えた後に、  
メンバーが褒めてくれたそうです。ちょっとした  
ことでも「ありがとう」と言ったり、率直に褒め  
たりし合えるメンバーの存在は、自分の成長につ  
ながっているそうです。

お二人のお話を通して、一緒に仕事をするメン  
バーや所長などお互いに支え合うことで、個人  
としても成長できる職場だと思いました。

### 〈担当から学生へのコメント〉

大学生は不安がたくさんあると思います。壁は自  
分が思っている以上に可能性が無量大。失敗した  
からこそ成長できた経験がたくさんあるはず。失  
敗するから次の一歩があります。失敗するからこ  
そ成長につながります。たくさん失敗して大丈夫。  
多くのことに挑戦しましょう！

営業／採用担当 今林・松本



## ～取材後の感想～



鹿児島大学  
きょうべい

鹿児島を盛り上げつつ世界も見据  
えている姿に、素直にかっこいい  
なと思いました。ますます鹿児島  
を活気づけて行ってほしいです。



鹿児島大学  
ゆいびー

インタビューを通して、温かく優  
しい人たちが集まる職場だと思  
いました！新しくリニューアルされ  
るオフィスにも注目ですね！